

毎年6月は環境月間です

「環境の日」と「環境月間」

1972年6月5日から2週間にわたりストックホルムで開催された国連人間環境会議で、人類とその子孫のために人間環境の保全と改善を世界共通の目標とし、その実現の意思を明らかにする「人間環境宣言」が採択されました。

この会議を記念して、国連は6月5日を「世界環境デー」と定め、世界各国で環境保全に関する記念行事が行われています。わが国では環境基本法で6月5日を「環境の日」と定めるとともに、6月を「環境月間」として、環境問題についての理解と関心を深め、行動の契機とするための各種の催しを全国的に展開しています。

家庭における省エネルギー

私たちの快適な暮らしは、多くのエネルギーを消費することで成り立っています。しかし、エネルギー資源には限りがあり、地球温暖化の原因ともなっていることから、地球を守る意味でも省エネルギーの実践が求められます。

家庭でできる省エネルギー10か条

- ① エアコンの温度調整は、暖房は20度、冷房は28度に温度設定する。
- ② 照明は、省エネ型の蛍光灯や電球型蛍光灯を使用し、不要な時にはまめに消す。
- ③ 冷蔵庫内は、季節に合わせて温度調節し、詰め過ぎないように整理整頓をする。
- ④ 冷蔵庫は壁から適切な距離をあけて設置し、扉の開閉に気をつける。
- ⑤ 煮物などの下ごしらえには電子レンジを活用する。
- ⑥ お風呂には間隔をあけずに入り、追い炊きをせず、シャワーのお湯の出しすぎに気をつける。
- ⑦ 温水洗浄便座は、温度設定に気をつけ、使用しない時にはふたを閉める。
- ⑧ 車を使用する時は、無駄な荷物を積みっぱなしにせず、タイヤ空気圧のチェックをする。
- ⑨ 電気製品は、使用しない時は、コンセントからプラグを抜き、待機時消費電力を少なくする。
- ⑩ 電気、ガス、石油機器を購入する時は、省エネルギータイプの製品を選択する。

可燃ごみを出す時は、

「透明」または「半透明」のビニール袋で出しましょう。

4月1日から可燃ごみの出し方が変更になりました。

可燃ごみも、資源ごみと同じように中身の分かる透明または半透明のビニール袋に入れて出しましょう。ただし、すでにご家庭に買置きしてある黒い袋については、11月末日まで使用できます。

(生活環境課TEL820-5606)